

Wed. Aug 31, 2022

Luncheon Seminar

12:40 PM - 1:40 PM JST | 3:40 AM - 4:40 AM UTC | 第7会場 2号館1階12教室

ランチョンセミナー②／株式会社SPLYZA

Chair: Kai Toyoshima

[ランチョン2-1] ICTを活用した体育における新たな楽しさや価値の発見

*Taku Komizo¹ (1. Kashiwa City Kashiwadaihachi Elementary school)

Luncheon Seminar

12:40 PM - 1:40 PM JST | 3:40 AM - 4:40 AM UTC | 第4会場 3号館8階801教室

ランチョンセミナー①／順天堂大学スポーツ健康医科学推進機構（JASMS）①

司会：鈴木 宏哉（順天堂大学スポーツ健康科学部）

[ランチョン1-1] スポーツの「やりすぎ」と「やらなさすぎ」を考える

*Koya Suzuki¹, Yuki Someya¹ (1. Juntendo University)

Thu. Sep 1, 2022**Luncheon Seminar**

12:40 PM - 1:40 PM JST | 3:40 AM - 4:40 AM UTC | 第6会場 2号館1階11教室

ランチョンセミナー⑤／特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会（JATI）

Chair: Masaaki Kanno

[ランチョン5-1] JATI（日本トレーニング指導者協会）の活動とトレーニング指導の実際

*Masashi Aruga^{1,2,3,4} (1. Teikyo University of Science, 2. JATI, 3. Ph.D., 4. JATI-SATI)

[ランチョン5-2] トップアスリートに対するジャンプパフォーマンス改善のためのトレーニング事例

*Masaaki Kanno^{1,2,3,4} (1. TOYODA GOSEI HANDBALL TEAM "BLUE FALCON", 2. JATI, 3. Ph.D., 4. JATI-SATI)**Luncheon Seminar**

12:40 PM - 1:40 PM JST | 3:40 AM - 4:40 AM UTC | 第7会場 2号館1階12教室

ランチョンセミナー⑥／順天堂大学スポーツ健康医科学推進機構（JASMS）③

Chair: Yoshifumi Tamura

[ランチョン6-1] やせた若い女性の「食べない・運動しない」に潜む健康リスクとその課題解決へむけて

*Yuka Murofushi¹, Haruka Kadoya¹ (1. Juntendo University)**Luncheon Seminar**

12:40 PM - 1:40 PM JST | 3:40 AM - 4:40 AM UTC | 第5会場 2号館4階4E教室

ランチョンセミナー④／順天堂大学スポーツ健康医科学推進機構（JASMS）②

Chair: Kazuhiro Aoki

[ランチョン4-1] プロ野球と大学の連携が拓くスポーツ・イノベーション

*Kazuhiro Aoki¹, Atsushi Kubota¹, Hiroshi Hisamura², Koki Tanaka³ (1. Juntendo University, 2. Yomiuri Giants, 3. Chiba Lotte Marines)**Luncheon Seminar**

12:40 PM - 1:40 PM JST | 3:40 AM - 4:40 AM UTC | 第4会場 3号館8階801教室

ランチョンセミナー③／アーカイブティップス株式会社

[ランチョン3-1] モーションキャプチャーを指導に活かす

*Michiyoshi Ae¹ (1. Nippon Sport Science University)

Luncheon Seminar

🎵 Wed. Aug 31, 2022 12:40 PM - 1:40 PM JST | Wed. Aug 31, 2022 3:40 AM - 4:40 AM UTC | 🏢 第7会場 2号館1階12教室

ランチョンセミナー②／株式会社SPLYZA

Chair: Kai Toyoshima

共催社名：株式会社SPLYZA

[ランチョン2-1] ICTを活用した体育における新たな楽しさや価値の発見

*Taku Komizo¹ (1. Kashiwa City Kashiwadaihachi Elementary school)

Luncheon Seminar

ランチョンセミナー②／株式会社 SPLYZA

Chair: Kai Toyoshima

Wed. Aug 31, 2022 12:40 PM - 1:40 PM 第7会場 (2号館1階12教室)

共催社名：株式会社SPLYZA

[ランチョン2-1]ICTを活用した体育における新たな楽しさや価値の発見

*Taku Komizo¹ (1. Kashiwa City Kashiwadaihachi Elementary school)

従来の学校体育にはなかった「みる」スポーツの体験も積極的に取り入れながら、子供たちにスポーツの様々な楽しみ方を伝えている柏市立第八小学校の小溝先生。

「スポーツは考える力を育む」というコンセプトで全国の学校部活動や学校教育中心に展開中の映像分析ICTツールの SPLYZA Teams。

今回のランチョンセミナーでは、小溝先生が SPLYZA Teamsを活用した体育の授業において、生徒が新たに触れることができた「考える楽しさ」を中心に発表して頂きます。

Luncheon Seminar

🎵 Wed. Aug 31, 2022 12:40 PM - 1:40 PM JST | Wed. Aug 31, 2022 3:40 AM - 4:40 AM UTC | 🏢 第4会場 3号館8階801教室

🎵 **ランチョンセミナー①／順天堂大学スポーツ健康医科学推進機構（JASMS）①**

司会：鈴木 宏哉（順天堂大学スポーツ健康科学部）

[ランチョン1-1] スポーツの「やりすぎ」と「やらなさすぎ」を考える

*Koya Suzuki¹, Yuki Someya¹ (1. Juntendo University)

Luncheon Seminar

ランチョンセミナー①／順天堂大学スポーツ健康医科学推進機構（JASMS）①

司会：鈴木 宏哉（順天堂大学スポーツ健康科学部）

Wed. Aug 31, 2022 12:40 PM - 1:40 PM 第4会場 (3号館8階801教室)

[ランチョン1-1]スポーツの「やりすぎ」と「やらなさすぎ」を考える

*Koya Suzuki¹, Yuki Someya¹ (1. Juntendo University)

順天堂大学スポーツ健康医科学推進機構（JASMS）は、スポーツと医学の融合による社会課題の解決を目指している。

子どもたちのスポーツ現場では、成長期からの「やりすぎ」によるスポーツ障害の発生や、勝利主義を超えた勝利至上主義の問題点が指摘されている。一方で「やらなさすぎ」の問題も顕著であり、小・中学生の体力・運動能力は、コロナ禍も一因となり急激な低下傾向に転じている。そのため、運動あそびの実践などによる幼児期からの運動習慣形成が急務となっている。また、成人についてもスポーツ低関心・無関心が積年の課題となっている。若年期の運動習慣は、その後の生涯を通じた運動習慣形成や中高年期の疾病発症に影響を及ぼすことが知られており、本学における文京区在住の高齢者を対象としたコホート研究(Bunkyo Health Study)や順天堂大学体格体力累加測定研究（J-Fit+ Study）、順天堂同窓生研究（Juntendo Alumni Study）からも、関連する興味深い結果が得られている。

本セミナーではこの分野に精通したスポーツ政策やスポーツ医科学の研究者が、スポーツ行政の動向や自身の研究を例に、この重要な社会課題に対する対策のヒントを自由に語る。

Luncheon Seminar

🎵 Thu. Sep 1, 2022 12:40 PM - 1:40 PM JST | Thu. Sep 1, 2022 3:40 AM - 4:40 AM UTC | 🏢 第6会場 2号館
1階11教室

ランチョンセミナー⑤／特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会（JATI）

Chair: Masaaki Kanno

主催者：特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会（JATI）

[ランチョン5-1] JATI（日本トレーニング指導者協会）の活動とトレーニング指導の実際

*Masashi Aruga^{1,2,3,4} (1. Teikyo University of Science, 2. JATI, 3. Ph.D., 4. JATI-SATI)

[ランチョン5-2] トップアスリートに対するジャンプパフォーマンス改善のためのトレーニング事例

*Masaaki Kanno^{1,2,3,4} (1. TOYODA GOSEI HANDBALL TEAM "BLUE FALCON", 2. JATI, 3. Ph.D., 4. JATI-SATI)

Luncheon Seminar

ランチョンセミナー⑤／特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会（JATI）

Chair: Masaaki Kanno

Thu. Sep 1, 2022 12:40 PM - 1:40 PM 第6会場 (2号館1階11教室)

主催者：特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会（JATI）

[ランチョン5-1]JATI（日本トレーニング指導者協会）の活動とトレーニング指導の実際

*Masashi Aruga^{1,2,3,4} (1. Teikyo University of Science, 2. JATI, 3. Ph.D., 4. JATI-SATI)

JATIは、設立時より、日本から発信するトレーニング指導の専門職団体として活動している。科学的根拠を基に安全で効果的なトレーニング方法についての情報発信、教育研究活動に従事している。協会の主な活動と、トレーニングの実践例について紹介する。

<略歴>

早稲田大学教育学部教育学科体育学専修卒業、広島大学医学部生物統計学研究生、東邦大学医学部公衆衛生学研究生を経て、女子栄養大学大学院（臨床栄養学）修了。博士（栄養学）。帝京科学大学医療科学部東京柔道整復学科教授（2011年～現在）、帝京科学大学強化部（柔道部、女子駅伝チーム）アスレティックディレクター。

Luncheon Seminar

ランチョンセミナー⑤／特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会（JATI）

Chair: Masaaki Kanno

Thu. Sep 1, 2022 12:40 PM - 1:40 PM 第6会場 (2号館1階11教室)

主催者：特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会（JATI）

[ランチョン5-2] トップアスリートに対するジャンプパフォーマンス改善のためのトレーニング事例

*Masaaki Kanno^{1,2,3,4} (1. TOYODA GOSEI HANDBALL TEAM "BLUE FALCON", 2. JATI, 3. Ph.D., 4. JATI-SATI)

球技系アスリートにおいて、ジャンプ能力は重要なパフォーマンスのひとつであり、近年では跳躍高だけではなく跳躍速度、パワー、フォース、反応筋力、負荷－速度プロフィールなどの指標によって評価することがトレーニング指導の実践現場においてもできるようになってきた。本セミナーでは、国内トップレベルのアスリートに対する、ジャンプパフォーマンス改善のためのエビデンスを活用・応用したトレーニング指導の実例を紹介する。

<略歴>

博士（学術）。オリンピック代表、日本代表、プロ、実業団のトップアスリートのスポーツ&パフォーマンスサイエンティストを務めると共に、愛知学院大学 心身科学部、東海学園大学 スポーツ健康科学部、愛知淑徳大学 健康医療科学部、至学館大学 健康科学部で教員を務めている。

Luncheon Seminar

🎵 Thu. Sep 1, 2022 12:40 PM - 1:40 PM JST | Thu. Sep 1, 2022 3:40 AM - 4:40 AM UTC | 🏢 第7会場 2号館
1階12教室

ランチョンセミナー⑥／順天堂大学スポーツ健康医科学推進機構（JASMS）③

Chair: Yoshifumi Tamura

[ランチョン6-1] やせた若い女性の「食べない・運動しない」に潜む健康リスクとその課題解決へむけて

*Yuka Murofushi¹, Haruka Kadoya¹ (1. Juntendo University)

Luncheon Seminar

ランチョンセミナー⑥／順天堂大学スポーツ健康医科学推進機構（JASMS）③

Chair: Yoshifumi Tamura

Thu. Sep 1, 2022 12:40 PM - 1:40 PM 第7会場 (2号館1階12教室)

[ランチョン6-1]やせた若い女性の「食べない・運動しない」に潜む健康リスクとその課題解決へむけて

*Yuka Murofushi¹, Haruka Kadoya¹ (1. Juntendo University)

順天堂大学スポーツ健康医科学推進機構（JASMS）は、スポーツと医学の融合による社会課題の解決を目指している。

日本は、女性の「痩せ」（BMI18.5 kg/m²未満）の割合が先進国の中で最も高く、特に若い女性では、約20%と極めて高い。科学的根拠の乏しいダイエット方法や「痩せていれば健康」という誤った認識、過度な痩せ志向を助長する情報が多く見受けられる。

本セミナーでは、痩せていても「少食で運動不足」の若い女性は肥満者と同様に血糖値が上昇し糖尿病リスクが高いという昨年より注目を集めている本学の研究成果と、その対策となる若い女性へ向けて製作・発信したエクササイズプログラムを紹介する。また、花王株式会社が取り組む女性の健康問題や、女性の痩せへの課題意識についてお話いただき、総合討論として医学、スポーツ科学、健康問題に取り組む企業の立場から、若い女性の痩せ思考の背景に何があるのか、若い世代からの健康的な体作りと運動の必要性について議論する。

Luncheon Seminar

📅 Thu. Sep 1, 2022 12:40 PM - 1:40 PM JST | Thu. Sep 1, 2022 3:40 AM - 4:40 AM UTC | 📍 第5会場 2号館
4階4E教室

📌 ランチョンセミナー④／順天堂大学スポーツ健康医科学推進機構（JASMS）②

Chair: Kazuhiro Aoki

[ランチョン4-1] プロ野球と大学の連携が拓くスポーツ・イノベーション

*Kazuhiro Aoki¹, Atsushi Kubota¹, Hiroshi Hisamura², Koki Tanaka³ (1. Juntendo University, 2. Yomiuri Giants, 3. Chiba Lotte Marines)

Luncheon Seminar

ランチョンセミナー④／順天堂大学スポーツ健康医科学推進機構（JASMS）②

Chair: Kazuhiro Aoki

Thu. Sep 1, 2022 12:40 PM - 1:40 PM 第5会場 (2号館4階4E教室)

[ランチョン4-1]プロ野球と大学の連携が拓くスポーツ・イノベーション

*Kazuhiro Aoki¹, Atsushi Kubota¹, Hiroshi Hisamura², Koki Tanaka³ (1. Juntendo University, 2. Yomiuri Giants, 3. Chiba Lotte Marines)

順天堂大学スポーツ健康医科学推進機構（JASMS）は、スポーツと医学の融合による社会課題の解決を目指している。

近年トップアスリートへのサポートに医師や科学者などの専門家の参画が進んでいるが、チーム独自の取り組みに加えて、他組織との連携を図ることで、それらをさらに拡充させることが期待できる。

順天堂大学では、強みである医学・医療とスポーツ科学を融合した体制を形成し、プロ野球・読売ジャイアンツと千葉ロッテマリーンズへの医科学サポートを行っている。

本セミナーでは、両球団との連携や取り組みを紹介するとともに、プロスポーツチームが大学等学術機関との連携に期待することについて両球団よりお話いただく。また、今後の医科学データの活用や人材育成など、プロスポーツチームと大学との連携によるイノベーションについて議論する。

Luncheon Seminar

🎫 Thu. Sep 1, 2022 12:40 PM - 1:40 PM JST | Thu. Sep 1, 2022 3:40 AM - 4:40 AM UTC | 🏢 第4会場 3号館
8階801教室

ランチョンセミナー③／アーカイブティップス株式会社

共催社名：アーカイブティップス株式会社

[ランチョン3-1] モーションキャプチャーを指導に活かす

*Michiyoshi Ae¹ (1. Nippon Sport Science University)

Luncheon Seminar

ランチョンセミナー③／アーカイブティップス株式会社

Thu. Sep 1, 2022 12:40 PM - 1:40 PM 第4会場 (3号館8階801教室)

共催社名：アーカイブティップス株式会社

[ランチョン3-1]モーションキャプチャーを指導に活かす

*Michiyoshi Ae¹ (1. Nippon Sport Science University)

体育スポーツの指導は運動(動作)の指導なしには成立しない。動作を改善するための第1歩は客観的手段や感覚を含めて様々な方法により運動者の動作を観察することであろう。次に運動者の動作を動作モデルや手本と比較するなどして評価し、ねらいとする動作ができない原因、技術的な欠点などを明らかにし、練習やトレーニングを行う。その際の方法には①課題発見型、②短期課題チェック型、③課題解決型、④仮説提案型のフィードバックが考えられる。このうち③は即時的フィードバックと呼ばれ、ある動作の情報を即時的に運動者や指導者に示してその問題点や改善状況などを検討して、再度実施するというプロセスを繰り返すが、動作情報を得るため motion capture systemやビデオが効果を発揮する。

セミナーでは、ビデオ、motion capture systemを用いたフィードバックの例、標準動作モデル(動きの標準値)を組み入れた動作トレーニングシステムなどを紹介し、Monitoring motion trainingにおける motion capture systemの活用法を考えることにしたい。